

## 第3部

# 取組状況に対する外部評価



# 1. 外部評価の実施方針

## (1) 目的

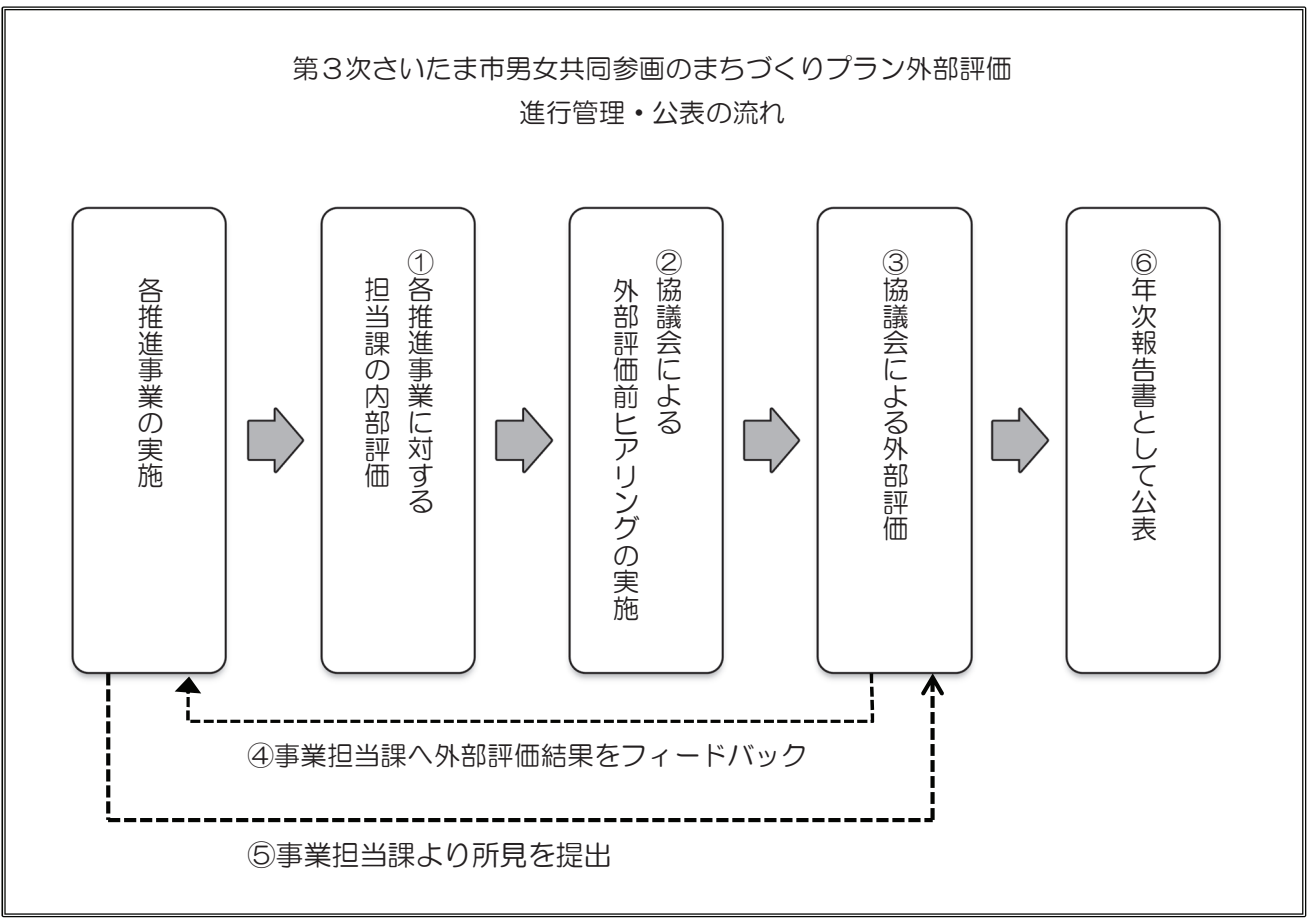
男女共同参画の推進は、市政のあらゆる領域にわたり、全庁的な取組を必要とすることから、第3次プランにおいても、各課における内部評価に加え、評価に客観性、公平性、多面性を持たせることを目的として、重点事項等を対象に外部評価を行います。

## (2) 実施機関

さいたま市男女共同参画推進協議会

## (3) 進行管理・公表の流れ

- ①各推進事業について、担当課が進捗状況に対する評価（内部評価）を行います。
- ②協議会は、各事業への認識を深め、外部評価の精度を高めるため、事業担当課に対しヒアリングを実施します。
- ③協議会は、事業担当課の内部評価やヒアリング結果に基づき、外部評価を行います。
- ④外部評価結果を集計し、次年度以降の各推進事業の実施に反映させるよう、担当課へのフィードバックを行います。
- ⑤結果を受けた担当課は、これを踏まえた所見を協議会へ提出します。
- ⑥外部評価結果を年次報告書へ掲載し、公表します。



#### (4) 外部評価の年度計画

第3次プランは、231の推進事業で構成されていますが、外部評価は、その中から重点事項5項目に位置づけられた事業及び数値目標が設定された64項目を対象に5年間で計画的に実施します。

実施年度	対象項目
平成27年度	<b>重点事項1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進 【計15事業】</b> 目標IV-1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進 <b>重点事項2 女性の経済的自立の促進と「M字カーブ問題」の解消に向けた取組の推進</b> 目標IV-4 女性の経済的自立と「M字カーブ問題」の解消に向けた取組の推進 基本施策：①～③ 【計19事業】
平成28年度	<b>重点事項2 女性の経済的自立の促進と「M字カーブ問題」の解消に向けた取組の推進</b> 目標IV-4 女性の経済的自立と「M字カーブ問題」の解消に向けた取組の推進 基本施策：④～⑦ 【計22事業】 <b>重点事項3 男性にとっての男女共同参画の推進 【計13事業】</b> 目標II-2 男性にとっての男女共同参画の推進
平成29年度	<b>重点事項4 地域における男女共同参画の推進 【計20事業】</b> 目標V-3 地域における男女共同参画の推進
平成30年度	<b>重点事項5 女性に対するあらゆる暴力の根絶 【計29事業】</b> 目標VI-1 女性に対するあらゆる暴力の根絶 目標VI-2 ドメスティック・バイオレンス防止対策と被害者の自立支援（DV防止基本計画の推進）
平成31年度	<b>数値目標設定事業 【62事業（64項目）】のうちH27～H30年度に外部評価を実施していない事業【27事業（29項目）】</b>

#### (5) 外部評価の方法

##### ① 1次集計：各評価項目に対する全委員の評価の平均点

協議会委員が行った項目に対する評価から、全委員の評価の評価項目ごとの平均点を算出します。  
 （3評価項目・4点満点）

評価項目	評価点
1 進捗度	4：計画どおりに進められている（90%以上） 3：概ね計画どおりに進められている（70%程度） 2：あまり計画どおりに進められていない（50%程度） 1：計画どおりに進められていない／未着手（30%未満）
2 今後の進め方 ※括弧内は目標達成期待値	4：目標の達成に向け、このまま進めるべきである（90%以上） 3：目標の達成には、多少の見直しが必要である（70%程度） 2：目標の達成には、相当な見直しが必要である（50%程度） 1：目標の達成には、抜本的な見直しが必要である（30%未満）
3 課題の認識	4：よく認識している（90%以上） 3：認識している（70%程度） 2：認識不足である（50%程度） 1：認識していない（30%未満）

##### ② 2次集計：各推進事業の評価点

各評価項目の評価点（1次集計結果）を推進事業ごとに平均し、各推進事業の評価点を算出します。

##### ③ 3次集計：各重点目標の評価点

各推進事業の評価点（2次集計結果）をI～IXの目標ごとに平均し、各目標の評価点を算出します。

## 2. 外部評価結果

### 協議会委員による外部評価結果

事業No.	推進事業	担当課	n=20	評価項目1 進捗度				評価項目2 今後の進め方				評価項目3 課題の認識			
				4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
				計画どおりに進められている(90%以上)	概ね計画どおりに進められている(70%程度)	あまり計画どおりに進められていない(50%程度)	計画どおりに進められていない/未着手(30%未満)	目標の達成に向け、このまま進めるべきである(90%以上)	目標の達成には、多少の見直しが必要である(70%程度)	目標の達成には、相当な見直しが必要である(50%程度)	目標の達成には、抜本的な見直しが必要である(30%未満)	よく認識している(90%以上)	認識している(70%程度)	認識不足である(50%程度)	認識していない(30%未満)
1	①人権教育の推進	人権教育推進室	件	13	5	0	0	8	9	1	0	5	11	2	0
			%	65.0%	25.0%	0.0%	0.0%	40.0%	45.0%	5.0%	0.0%	25.0%	55.0%	10.0%	0.0%
2	②人権についての啓発パンフレット作成・配布	人権政策・男女共同参画課(人権政策推進課)	件	16	2	0	0	10	8	0	0	9	8	1	0
			%	80.0%	10.0%	0.0%	0.0%	50.0%	40.0%	0.0%	0.0%	45.0%	40.0%	5.0%	0.0%
3	③人権セミナー・講座等の開催	人権政策・男女共同参画課(人権政策推進課)	件	14	4	0	0	11	7	0	0	7	9	2	0
			%	70.0%	20.0%	0.0%	0.0%	55.0%	35.0%	0.0%	0.0%	35.0%	45.0%	10.0%	0.0%
6	①男女共同参画に関する講座・講演会の開催	人権政策・男女共同参画課(男女共同参画課)	件	16	2	0	0	13	5	0	0	10	8	0	0
			%	80.0%	10.0%	0.0%	0.0%	65.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	40.0%	0.0%	0.0%
11	①親の学習、家庭教育学級等の実施	生涯学習総合センター・公民館	件	13	5	0	0	11	6	1	0	7	8	2	0
			%	65.0%	25.0%	0.0%	0.0%	55.0%	30.0%	5.0%	0.0%	35.0%	40.0%	10.0%	0.0%
12	②家庭教育、子育てセミナー等の開催	生涯学習振興課	件	10	8	0	0	7	11	0	0	7	11	0	0
			%	50.0%	40.0%	0.0%	0.0%	35.0%	55.0%	0.0%	0.0%	35.0%	55.0%	0.0%	0.0%
13	①教職員の意識づくりと研修の充実	人権教育推進室	件	7	10	1	0	6	9	3	0	5	9	3	0
			%	35.0%	50.0%	5.0%	0.0%	30.0%	45.0%	15.0%	0.0%	25.0%	45.0%	15.0%	0.0%
16	①男女共同参画の視点に立った講座の企画・運営	生涯学習総合センター・公民館	件	5	13	0	0	7	11	0	0	6	11	0	0
			%	25.0%	65.0%	0.0%	0.0%	35.0%	55.0%	0.0%	0.0%	30.0%	55.0%	0.0%	0.0%
18	③図書館資料情報の提供	中央図書館資料サービス課	件	15	3	0	0	11	6	1	0	7	10	1	0
			%	75.0%	15.0%	0.0%	0.0%	55.0%	30.0%	5.0%	0.0%	35.0%	50.0%	5.0%	0.0%
19	④高齢者大学事業の充実	高齢福祉課	件	10	6	0	1	11	6	0	0	7	9	1	0
			%	50.0%	30.0%	0.0%	5.0%	55.0%	30.0%	0.0%	0.0%	35.0%	45.0%	5.0%	0.0%
27	③市民コミュニティづくり事業の充実	生涯学習総合センター・公民館	件	12	5	0	0	9	6	1	1	7	8	1	1
			%	60.0%	25.0%	0.0%	0.0%	45.0%	30.0%	5.0%	5.0%	35.0%	40.0%	5.0%	5.0%
28	④公民館での託児の実施	生涯学習総合センター・公民館	件	9	8	0	0	7	9	0	1	10	6	0	1
			%	45.0%	40.0%	0.0%	0.0%	35.0%	45.0%	0.0%	5.0%	50.0%	30.0%	0.0%	5.0%
43	①審議会等委員への女性の登用促進	人権政策・男女共同参画課(男女共同参画課)	件	2	11	5	0	4	7	7	0	7	7	4	0
			%	10.0%	55.0%	25.0%	0.0%	20.0%	35.0%	35.0%	0.0%	35.0%	35.0%	20.0%	0.0%
44	②女性職員の管理職への登用促進	人事課	件	9	8	1	0	9	6	2	1	6	5	5	1
			%	45.0%	40.0%	5.0%	0.0%	45.0%	30.0%	10.0%	5.0%	30.0%	25.0%	25.0%	5.0%
		教育総務課	件	8	10	0	0	8	7	2	1	6	6	3	2
			%	40.0%	50.0%	0.0%	0.0%	40.0%	35.0%	10.0%	5.0%	30.0%	30.0%	15.0%	10.0%
		教職員人事課	件	1	12	2	2	3	9	3	3	3	6	3	6
			%	5.0%	60.0%	10.0%	10.0%	15.0%	45.0%	15.0%	15.0%	15.0%	30.0%	15.0%	30.0%

事業No.	推進事業	担当課	n=20	評価項目1 進捗度				評価項目2 今後の進め方				評価項目3 課題の認識			
				4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
				計画どおりに進められている(90%以上)	概ね計画どおりに進められている(70%程度)	あまり計画どおりに進められていない(50%程度)	計画どおりに進められていない/未着手(30%未満)	目標の達成に向け、このまま進めべきである(90%以上)	目標の達成には、多少の見直しが必要である(70%程度)	目標の達成には、相当な見直しが必要である(50%程度)	目標の達成には、抜本的な見直しが必要である(30%未満)	よく認識している(90%以上)	認識している(70%程度)	認識不足である(50%程度)	認識していない(30%未満)
52	⑤政治や選挙に関する意識・関心の高揚	選挙課	件 %	3 15.0%	11 55.0%	4 20.0%	0 0.0%	4 20.0%	8 40.0%	5 25.0%	1 5.0%	4 20.0%	3 15.0%	8 40.0%	3 15.0%
57	③女性スポーツ指導者の育成	スポーツ振興課	件 %	11 55.0%	7 35.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 65.0%	4 20.0%	1 5.0%	0 0.0%	9 45.0%	8 40.0%	0 0.0%	1 5.0%
72	④子育て情報の提供	子育て支援政策課	件 %	11 55.0%	7 35.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 60.0%	5 25.0%	1 5.0%	0 0.0%	8 40.0%	8 40.0%	0 0.0%	1 5.0%
77	⑤子育てヘルパー派遣事業	子育て支援政策課	件 %	13 65.0%	4 20.0%	1 5.0%	0 0.0%	11 55.0%	6 30.0%	0 0.0%	1 5.0%	10 50.0%	7 35.0%	0 0.0%	1 5.0%
86	④介護保険関連施設等の整備促進	介護保険課	件 %	10 50.0%	8 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 55.0%	6 30.0%	1 5.0%	0 0.0%	6 30.0%	9 45.0%	1 5.0%	1 5.0%
131	①生きがい活動事業の充実	生涯学習総合センター・公民館	件 %	12 60.0%	5 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 45.0%	8 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 25.0%	10 50.0%	2 10.0%	1 5.0%
132	②生きがい活動事業の充実(アクティブチケット交付事業)	高齢福祉課	件 %	12 60.0%	5 25.0%	0 0.0%	1 5.0%	10 50.0%	7 35.0%	0 0.0%	1 5.0%	7 35.0%	7 35.0%	2 10.0%	1 5.0%
133	③シルバーバンクの充実	高齢福祉課	件 %	10 50.0%	8 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 60.0%	5 25.0%	0 0.0%	1 5.0%	6 30.0%	9 45.0%	1 5.0%	1 5.0%
137	⑦シルバー人材センターの充実	高齢福祉課	件 %	12 60.0%	6 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 60.0%	5 25.0%	0 0.0%	1 5.0%	8 40.0%	7 35.0%	1 5.0%	1 5.0%
191	①女性の性と生殖に関する健康/権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)の啓発	人権政策・男女共同参画課(男女共同参画課)	件 %	14 70.0%	4 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 65.0%	4 20.0%	1 5.0%	0 0.0%	12 60.0%	3 15.0%	1 5.0%	1 5.0%
195	②乳がん・子宮がん等の検診の実施	地域保健支援課	件 %	5 25.0%	9 45.0%	4 20.0%	0 0.0%	11 55.0%	5 25.0%	2 10.0%	0 0.0%	9 45.0%	6 30.0%	2 10.0%	0 0.0%
196	③特定保健指導の実施	地域保健支援課	件 %	10 50.0%	6 30.0%	1 5.0%	0 0.0%	12 60.0%	4 20.0%	1 5.0%	0 0.0%	9 45.0%	6 30.0%	2 10.0%	0 0.0%
209	①薬物・喫煙・飲酒に関する健康教育の推進	健康教育課	件 %	10 50.0%	6 30.0%	0 0.0%	1 5.0%	10 50.0%	7 35.0%	0 0.0%	1 5.0%	7 35.0%	9 45.0%	0 0.0%	1 5.0%

## 外部評価集計結果

事業No.	推進事業名	2次集計 各推進事業の評価点	3次集計 目標VI-1、目標VI-2の評価点
1	①人権教育の推進	3.43	3.39
2	②人権についての啓発パンフレット作成・配布	3.63	
3	③人権セミナー・講座等の開催	3.56	
6	①男女共同参画に関する講座・講演会の開催	3.72	
11	①親の学習、家庭教育学級等の実施	3.52	
12	②家庭教育、子育てセミナー等の開催	3.44	
13	①教職員の意識づくりと研修の充実	3.21	
16	①男女共同参画の視点に立った講座の企画・運営	3.34	
18	③図書館資料情報の提供	3.57	
19	④高齢者大学事業の充実	3.49	
27	③市民コミュニティづくり事業の充実	3.43	
28	④公民館での託児の実施	3.43	
43	①審議会等委員への女性の登用促進	2.94	
44	②女性職員の管理職への登用促進(人事課)	3.22	
	②女性職員の管理職への登用促進(教育総務課)	3.20	
	②女性職員の管理職への登用促進(教職員人事課)	2.57	
52	⑤政治や選挙に関する意識・関心の高揚	2.74	
57	③女性スポーツ指導者の育成	3.56	
72	④子育て情報の提供	3.53	
77	⑤子育てヘルパー派遣事業	3.54	
86	④介護保険関連施設等の整備促進	3.43	
131	①生きがい活動事業の充実	3.43	
132	②生きがい活動事業の充実(アクティブチケット交付事業)	3.39	
133	③シルバーバンクの充実	3.43	
137	⑦シルバー人材センターの充実	3.51	
191	①女性の性と生殖に関する健康／権利(リプロダクティブ・ヘルス／ライツ)の啓発	3.66	
195	②乳がん・子宮がん等の検診の実施	3.32	
196	③特定保健指導の実施	3.53	
209	①薬物・喫煙・飲酒に関する健康教育の推進	3.40	

(各4点満点)

事業番号 1

①人権教育の推進

担当課： 人権教育推進室

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.72	3.39	3.17	3.43

（主な評価理由・意見等）

- ・研修会の実施、パンフレットの作成・配布等が評価の対象となっているようであるが、そもそも「学校内での人権教育」について認識が浅いように思う。
- ・教員の児童及び同僚に対する不祥事により懲戒免職になる事案があり、結果として浸透していない面もあると思われる。
- ・人権意識の向上が図られたかを把握する工夫が必要である。また、いじめなどの問題の発生は考慮しなくてよいのか。
- ・初任者研修などで人権教育マニュアルを配布とあるが、日頃より教育者への講習などをやるべき。
- ・成人層（特に30代～50代）への対応を検討する必要がある。
- ・人権が意味するものは広いので、今後DVや虐待も事業内容に含めた方が良い。

事業番号 2

②人権についての啓発パンフレット作成・配布

担当課： 人権政策・男女共同参画課（人権政策推進課）

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.89	3.56	3.44	3.63

（主な評価理由・意見等）

- ・市民の人権尊重意識の普及・高揚が図られたかどうか、市民意識調査等で把握する必要がある。
- ・学校にもPTA会長宛で届くが、意味がわからないので、読まれていない。効果的に配布したほうがよい。
- ・多くの方が目にする場所に配布した方が良い。例えば、駅構内やスーパーマーケットなどである。
- ・出前講座などの活用により有効な配布方法の工夫が必要。



## 事業番号 3

## ③人権セミナー・講座等の開催

担当課： 人権政策・男女共同参画課(人権政策推進課)

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.78	3.61	3.28	3.56

(主な評価理由・意見等)

- ・組織改編の効果として、今後、男女共同参画推進にかかわる企画が組まれていくことを期待したい。
- ・市民の人権尊重意識の普及・高揚が図られたかどうか、講演会・研修会のアンケート等で把握する必要がある。
- ・男女共同参画の視点の有無が不明確。関連する取り組みは行われているようなので、そうしたもの等も踏まえた形で、今後、事業目的や計画目標を作成されることを期待する。
- ・住民に身近な区役所(市民活動団体所管課)との共同実施の検討できないか。

## 事業番号 6

## ①男女共同参画に関する講座・講演会の開催

担当課： 人権政策・男女共同参画課(男女共同参画課)

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.89	3.72	3.56	3.72

(主な評価理由・意見等)

- ・講座・講演会の目的や重要性を周囲に理解させる必要性を感じた。本当に参加してほしい人が参加していない現状では。
- ・より一層充実した内容で開催できるよう応援している。
- ・センターまで足を運ばなくとも講座を聞くことができるよう、出前講座をさらに増やすと良い。
- ・自治会役員への啓発を独自に検討する。

## 事業番号 11

### ①親の学習、家庭教育学級等の実施

担当課： 生涯学習総合センター・公民館

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.72	3.56	3.29	3.52

(主な評価理由・意見等)

- ・成長段階に合わせた親への支援が必要であると思う。
- ・家庭問題は、性役割のステレオタイピングについて特に留意すべき分野である。本事業において性別ごとにどのような効果が見られたのか、またいかに親のあり方の多様性が確保されたのか詳細な評価が必要と考える。
- ・男女共同参画の視点の有無が不明。性別間関係における課題や性別ごとの課題を考慮しながら、今後、事業目的や計画目標を作成されることを期待する。
- ・男性も参加しやすく、の視点で広報を工夫することを期待する。
- ・現役親とシルバー世代の共同学習の場を増やす。

## 事業番号 12

### ②家庭教育、子育てセミナー等の開催

担当課： 生涯学習振興課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.56	3.39	3.39	3.44

(主な評価理由・意見等)

- ・平日のみの設定や中学校での開催などについての課題は把握されているので、それを解決する今後の進め方を期待したい。
- ・参加者の性別やその雇用形態に偏りがあることが想定される際には、参加者層特有の課題や、参加できない保護者層の課題を把握しながら、男女共同参画の視点に即した形となるよう内容・方法を慎重に評価する必要がある。
- ・男女共同参画の視点の有無が不明。保護者、児童生徒双方について、性別間関係における課題や性別ごとの
- ・中学校の参加率をもう少し上げられるとより良い。
- ・全ての中学校での実施が好ましい。入学式の日を利用すると良いと考える。

## 事業番号 13

## ①教職員の意識づくりと研修の充実

担当課： 人権教育推進室

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.33	3.17	3.12	3.21

(主な評価理由・意見等)

- ・教育委員会の担当者の男女共同参画の課題についての認識が不足していると思われる。教育委員会職員を含め、教育に携わる教職員の意識醸成のあり方を見直し、しっかりと取り組んでほしい。
- ・教育分野の男女共同参画は、「多様な性」以外にも様々な観点があるため、教職員の研修の体系を見直してしっかりと取り組んでいただきたい。
- ・学校との実質的な連携は、研修・講演会をやって終わりということにはならない。学校における人権課題への取り組みについての把握の努力はしてほしい。
- ・建前ばかりではなく、そばにいる大人(教師)がまず、学び意識することが重要。
- ・市内学校の教員による不祥事案件や部活動顧問の暴言等によると見られる生徒自殺案件など、教職員の人権意識が浸透しているとは言えない。
- ・日本の教員は極めて多忙であり、教職員向けと銘打った研修会・講演会の数が少なくとも、生徒に対する授業内容が意識作りとなっていると考える。

## 事業番号 16

## ①男女共同参画の視点に立った講座の企画・運営

担当課： 生涯学習総合センター・公民館

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.28	3.39	3.35	3.34

(主な評価理由・意見等)

- ・意識啓発、情報交換等がなされたのかどうかについて把握する必要がある。
- ・数値目標の未達成が進捗度評価に影響することは避けられないが、今後の準備状況についても考慮すべきである。また、数値目標の未達成は必ずしも効率性評価に影響を与えるべきものではない。参加者数次第である。
- ・地域イベントとタイアップし、男女共同参画に関するイベントや講座を地域イベント内に盛り込むと、住民への浸透率が高くなる。
- ・シルバー世代へ繰り返しの啓発機会を工夫する。

## 事業番号 18

### ③図書館資料情報の提供

担当課： 中央図書館資料サービス課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.83	3.56	3.33	3.57

(主な評価理由・意見等)

- ・時代の変化に伴い様々な資料が求められていると思う。ぜひ、広い視野での情報収集と拡充をお願いしたい。
- ・資料が活用されているかどうかを把握する必要がある。
- ・図書館において、男女共同参画の意識が低い。(重きを置いていない。)市民へのアプローチの仕方があるはず。

## 事業番号 19

### ④高齢者大学事業の充実

担当課： 高齢福祉課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.47	3.65	3.35	3.49

(主な評価理由・意見等)

- ・高齢者大学における男女共同参画の課題はあるはずであり、それについての認識を示してほしい。
- ・事業内容や目標等の記述からは、男女共同参画にどれだけコミットするのかが読み取れない。
- ・本事業にがいかに性役割の多様性確保に寄与したのか、また性別ごとにどのような効果が見られたのか、より慎重かつ詳細な評価が必要と考える。
- ・OB会への相談・支援を継続する。
- ・男性だけでなく、女性も多くの参加があった。

## 事業番号 27

## ③市民コミュニティづくり事業の充実

担当課：生涯学習総合センター・公民館

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.71	3.35	3.24	3.43

(主な評価理由・意見等)

・男女共同参画の視点の有無が不明確。性別間関係における課題や性別ごとの課題を考慮しながら、今後、事業目的や計画目標を作成されることを期待する。

・今後の取組に対して具体性が感じられない。  
 ・事業内容や目標等の記述からは、男女共同参画にどれだけコミットするのかが読み取れない。

・他のグループ・団体との交流を好まない傾向があるのではないか。

## 事業番号 28

## ④公民館での託児の実施

担当課：生涯学習総合センター・公民館

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.53	3.29	3.47	3.43

(主な評価理由・意見等)

・託児を進めることは必要だが、公民館は地域に根差した施設と捉え、たとえ大人向けの講座等であっても、子どもが同席し、子どもが公共の場でどう振舞ったらよいか子どもが学習できる、講座参加者全員で子どもを見るというやり方の方が、子どもは社会が育てるといった姿勢が育成されると考える。

・一般講座においても現役親世代の参加の幅を広げる視点が必要。

・今後の取組に対して具体性が感じられない。

## 事業番号 43

### ①審議会等委員への女性の登用促進

担当課： 人権政策・男女共同参画課(男女共同参画課)

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
2.83	2.83	3.17	2.94

(主な評価理由・意見等)

- ・女性登用が増えない理由は何か。きちんと検討する必要があるかと思う。
- ・関係団体への働きかけを強めていただきたい。
- ・意識は十分であるが、女性登用が進むには、女性活躍の歴史は浅く、女性にとって現実は厳しい。
- ・審議会の性質上、その分野の専門家に女性が少ない場合、女性登用促進すると一部の女性専門家に負担が集中し、逆効果になる恐れがあるのでは。
- ・これ以上望めないではないかというジレンマが担当者に有りはしないか。

## 事業番号 44

### ②女性職員の管理職への登用促進

担当課： 人事課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.44	3.28	2.94	3.22

(主な評価理由・意見等)

- ・取り組む上での課題を具体的に記載してほしい。特に問題が無く、記載することが無い場合はその旨を明記してほしい。
- ・目標値設定が適切な高さを維持しているか否かについては今後意欲的に検討されることを望む。
- ・数字ばかり上げるのではなく、他の関係所管との連携に重きを置くべき。(有給休暇、子育て支援等)
- ・政策立案の機会や経験を増やすために速いローテーションを導入できないか。
- ・管理職を目指す女性の育成、登用後のフォローも必要。
- ・研修や後押しばかりでは、登用促進に限界がある。女性登用が進まない原因を調査などで明らかにし、その要因に即した対策を取り入れるべきである。



## 事業番号 44

## ②女性職員の管理職への登用促進

担当課： 教育総務課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.44	3.22	2.94	3.20

(主な評価理由・意見等)

- ・取り組む上での課題を具体的に記載してほしい。特に問題が無く、記載することが無い場合はその旨を明記してほしい。
- ・担当者の説明が市の目標と相反するものとなっていたため、担当課の課題認識に疑問を持った。
- ・数字ばかり上げるのではなく、他の関係所管との連携に重きを置くべき。(有給休暇、子育て支援等)
- ・政策立案の機会や経験を増やすために速いローテーションを導入できないか。
- ・研修や後押しばかりでは、登用促進に限界がある。女性登用が進まない原因を調査などで明らかにし、その要因に即した対策を取り入れるべきである。

## 事業番号 44

## ②女性職員の管理職への登用促進

担当課： 教職員人事課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
2.71	2.67	2.33	2.57

(主な評価理由・意見等)

- ・さいたま市の女性教員の管理職率、校長率は、全国の都道府県、政令市と比して最低レベルであり、取り組みは未着手と言わざるを得ない。担当課職員が取り組みの意義、必要性について、きちんと理解することが必要。このままでは学校教育の男女共同参画は進まないと思われるので、職員は根本からきちんと勉強してほしい。
- ・基本計画によれば、本施策は、意思決定参加者数の男女比について積極的格差是正を意図したものである。女性の女性管理職比率や管理職試験受験率が、母数の多さに比して極めて低く止まった原因について、各性別ごとの課題、特に女性特有の課題について調査・把握する必要がある。
- ・計画目標や先の現状を踏まえ、昇進試験受験勧奨・キャリア教育・労働環境整備・相談支援等を通じた積極的格差是正措置の拡大するとともに、各措置のより効果的な実施方法を検討することが強く望まれる。
- ・昇進試験・人事評価における機会均等原則と、昇進試験受験勧奨・キャリア教育・労働環境整備・相談支援等を通じた積極的格差是正措置は両立可能であること、また後者が本基本計画に明示された要請であることを再認識し、関連所管課とも必要に応じて協力の上取り組みを進めることが強く望まれる。また、数値目標も設定すべきと思われる。
- ・男女を問わず市民の期待に応えられる人材を管理職に登用するという考えは保護者にとってはとても頼もしい。
- ・担当課の方針のように、有為の人材を能力に合わせて登用した結果、男性と女性がいるのが本来の男女共同参画であると思う。
- ・日本の教員は長時間労働を迫られており、この基盤状況改善を図ることが大前提として必要と考える。
- ・研修や後押しばかりでは、登用促進に限界がある。女性登用が進まない原因を調査などで明らかにし、その要因に即した対策を取り入れるべきである。

## 事業番号 52

### ⑤政治や選挙に関する意識・関心の高揚

担当課： 選挙課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
2.94	2.83	2.44	2.74

(主な評価理由・意見等)

- ・「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」も施行され、投票参加の向上だけでなく、女性候補者が増加するための意識醸成、環境整備も重要だと思うが、現状の取り組みでは全く不十分だと思われる。
- ・ヒアリングでは、男女共同参画の視点や、女性候補者が増加するための取り組みの必要性に対する認識や、取り組みへの積極性が全く感じられなかった。
- ・若者の政治や選挙に関する意識・関心に関する取組が、18歳選挙権が決まったころに比べ消極的だと感じる。
- ・より意欲的な取り組みも望む。
- ・「候補者男女均等法」が通過し、2019年7月の参議院選では女性候補の増加が明らかであるので、この法律や実際の変化をさいたま市で活用すると良い。
- ・市長や各区のタウンミーティングのテーマとする大事な問題。
- ・明るい選挙推進協議会の女性割合も向上すべきだが、そもそも女性候補者数が増えることを目指すべきではないか。
- ・法が求める地方公共団体の役割について認識されていないと感じる。

## 事業番号 57

### ③女性スポーツ指導者の育成

担当課： スポーツ振興課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.61	3.67	3.39	3.56

(主な評価理由・意見等)

- ・地区振興会での女性役員増を図ることを優先する。
- ・地域ごとに女性比率のばらつきがあると書いてあるが、この項目には今後の取組を書いて頂きたい。



## 事業番号 72

## ④子育て情報の提供

担当課： 子育て支援政策課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.61	3.61	3.35	3.53

(主な評価理由・意見等)

・家庭問題は、性役割のステレオタイプングについて特に留意すべき分野である。本事業において親や子の性別ごとにどのような効果が見られたのか、またいかに親のあり方の多様性が確保されたのか詳細な評価が必要と考える。

・男女共同参画の視点の有無が不明確のきらいがある。実際の取り組みにおいては表現等留意されているようなので、左記の点もを踏まえた形で、今後、事業目的や計画目標を作成されることを期待する。

・子育て支援政策課は、「よく認識している」度は特に高いと思う。

・SNS情報と直接交流の機会での情報のミックスに工夫する。

・今後の取組に対して具体性が感じられない。

・掲載方法に工夫をするとさらに良い。

## 事業番号 77

## ⑤子育てヘルパー派遣事業

担当課： 子育て支援政策課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.67	3.50	3.44	3.54

(主な評価理由・意見等)

・子育て支援政策課は、「よく認識している」度は特に高いと思う。

・この事業は、認知度が低い。この事業があることやヘルパー詳細に関する周知を図るべきである。周知努力を図ることが必要と考える。

事業番号 86

#### ④介護保険関連施設等の整備促進

担当課： 介護保険課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.56	3.56	3.18	3.43

(主な評価理由・意見等)

・男女共同参画の視点の有無が不明確のきらいがある。可能であれば、高齢者の性別間関係における課題や性別ごとの特有の課題を考慮しながら、今後、事業目的や計画目標を作成されることを期待する。

・今後の取組に対して具体性が感じられない。

・事業内容や目標等の記述からは、男女共同参画にどれだけコミットするのかが読み取れない。

事業番号 131

#### ①生きがい活動事業の充実

担当課： 生涯学習総合センター・公民館

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.71	3.53	3.06	3.43

(主な評価理由・意見等)

・高齢者介護におけるジェンダーの課題を的確に把握してほしい。  
・事業内容や目標等の記述からは、男女共同参画にどれだけコミットするのかが読み取れない。

・退職後の高齢世帯は、性役割のステレオタイプングについて特に留意すべき領域である。性別ごとにどのような効果や課題が見られたのか、男女共同参画の視点に即した形となるよう内容・方法を慎重に評価する必要がある。

・男女共同参画の視点の有無が不明。高齢者の性別間関係における課題や性別ごとの特有の課題を考慮しながら

・積極的に多世代と関わる方向へ助言してほしい。

・今後も周知活動も力を入れてほしい。

## 事業番号 132

## ②生きがい活動事業の充実(アクティブチケット交付事業)

担当課: 高齢福祉課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.56	3.44	3.18	3.39

(主な評価理由・意見等)

- ・性別による課題を把握してほしい。

- ・退職後の高齢世帯は、性役割のステレオタイピングについて特に留意すべき領域である。性別ごとにどのような効果や課題が見られたのか、男女共同参画の視点に即した形となるよう内容・方法を慎重に評価する必要がある。

- ・男女共同参画の視点の有無が不明。高齢者の性別間関係における課題や性別ごとの特有の課題を考慮しながら、今後、事業目的や計画目標を作成されることを期待する。

- ・事業内容や目標等の記述からは、男女共同参画にどれだけコミットするのかが読み取れない。

## 事業番号 133

## ③シルバークバンクの充実

担当課: 高齢福祉課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.56	3.56	3.18	3.43

(主な評価理由・意見等)

- ・積極的な運用に期待。

- ・人生100年時代と言われる今、年齢・性別に関係なく、就労意欲のある人に、積極的に労働機会を提供してほしい。

- ・退職後の高齢世帯は、性役割のステレオタイピングについて特に留意すべき領域である。性別ごとにどのような効果や課題が見られたのか、男女共同参画の視点に即した形となるよう内容・方法を慎重に評価する必要がある。

- ・男女共同参画の視点の有無が不明。高齢者の性別間関係における課題や性別ごとの特有の課題を考慮しながら

- ・事業内容や目標等の記述からは、男女共同参画にどれだけコミットするのかが読み取れない。

事業番号 137

### ⑦シルバー人材センターの充実

担当課： 高齢福祉課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.67	3.56	3.29	3.51

(主な評価理由・意見等)

・男性が多いように思うので、女性の参加を促す工夫に期待。  
・人生100年時代と言われる今、年齢・性別に関係なく、就労意欲のある人に、積極的に労働機会を提供してほしい。

・退職後の高齢世帯は、性役割のステレオタイプングについて特に留意すべき領域である。性別ごとにどのような効果や課題が見られたのか、男女共同参画の視点に即した形となるよう内容・方法を慎重に評価する必要がある。  
・男女共同参画の視点の有無が不明。高齢者の性別間関係における課題や性別ごとの特有の課題を考慮しながら、今後、事業目的や計画目標を作成されることを期待する。

・女性向け入会説明会の開催を行なった。

事業番号 191

### ①女性の性と生殖に関する健康／権利(リプロダクティブ・ヘルス／ライツ)の啓発

担当課： 人権政策・男女共同参画課(男女共同参画課)

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.78	3.67	3.53	3.66

(主な評価理由・意見等)

・テーマに沿った講座を実施すると書いてあるが、当たり前なことなので、これを今後の取組にするのは止めて頂きたい。

・他の事業もそうであるが、「男女共同参画の視点」についてのコメントが安直なため、担当課の課題認識に不足を感じる。

事業番号 195

## ②乳がん・子宮がん等の検診の実施

担当課： 地域保健支援課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.06	3.50	3.41	3.32

(主な評価理由・意見等)

- ・受診が当たり前という意識になるよう、更なる普及に期待。
- ・「特定健康診査」と組み合わせられているので、進捗していると考え。
- ・受診を伝える方法やお知らせ方法の工夫が必要。

事業番号 196

## ③特定保健指導の実施

担当課： 地域保健支援課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.53	3.65	3.41	3.53

(主な評価理由・意見等)

- ・男女共同参画の視点の有無が不明確。医療機関では、性別ごとの課題に応じた生活習慣指導が行われているはずなので、それを踏まえた形で事業目的や計画目標を作成することが望ましい。

事業番号 209

### ①薬物・喫煙・飲酒に関する健康教育の推進

担当課： 健康教育課

1次集計			2次集計
進捗度	今後の進め方	課題の認識	評価点
3.47	3.44	3.29	3.40

(主な評価理由・意見等)

・性別による課題を把握してほしい。

・男女共同参画の視点の有無が不明確。可能であれば、若年者者の性別間関係における課題や性別ごとの特有の課題を考慮しながら、今後、事業目的や計画目標を作成されることを期待する。